

平成25年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オービス

コード番号 7827 URL <http://www.orvis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中浜 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 井上 清輝

TEL 084-934-2621

四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第3四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第3四半期	8,139	11.8	51	34.9	△14	—	△24	—
24年10月期第3四半期	7,281	△6.9	38	△51.1	20	△5.1	13	△73.3

(注) 包括利益 25年10月期第3四半期 △1百万円 (—%) 24年10月期第3四半期 4百万円 (△92.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年10月期第3四半期	△14.12	—
24年10月期第3四半期	7.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年10月期第3四半期	10,949	1,400	12.8	808.88
24年10月期	10,743	1,410	13.1	814.68

(参考) 自己資本 25年10月期第3四半期 1,400百万円 24年10月期 1,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年10月期	—	0.00	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	10,998	△3.2	0	△99.5	△87	—	△100	—	△58.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年10月期3Q	1,732,000 株	24年10月期	1,732,000 株
25年10月期3Q	855 株	24年10月期	674 株
25年10月期3Q	1,731,272 株	24年10月期3Q	1,731,326 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済状況の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年11月1日～平成25年7月31日)のわが国経済は、欧州の経済停滞、日中関係の悪化や円安による輸入品価格の上昇等、国内景気を下押しするリスクが存在するものの、新政権による経済政策への期待から株価の上昇、円安の進行による輸出環境の改善、企業の設備投資の下げ止まりや米国経済の緩やかな回復基調等も加わり、将来的な景況感の改善がみられました。

木材事業におきましては、原材料であるニュージーランド松の価格が中国需要の拡大を背景に再び上昇し、為替相場の急激な円安進行と相まって原材料コストが大幅に上昇する中で、販売価格への転嫁を推し進めてまいりました。

しかしながら、原材料コストの上昇が想定以上に速かったことから販売価格への転嫁との間にタイムラグが発生し、為替相場の影響を受けない国産杉材等との価格差から受注量が減少したことに加え、受注の落込みに合わせて生産調整を行ったことで製造コストが上昇する等、収益を圧迫することとなりました。

このような環境のもと、姫路工場内にセンターカット機(高精度切断機)を導入し、更なる製品品質の向上を図り、ドラム用材・カット材・熱処理材の拡販に努めてまいりました。

その結果、売上高は48億36百万円(前年同四半期比99.1%)、営業損失は1億23百万円(前年同四半期は営業利益8百万円)となりました。

ハウス・エコ事業のハウス部門におきましては、震災の復興関連工事に伴う公共投資の増加や消費税の増税を控えた住宅投資の増加が期待されていますが、資材価格・労務費等の上昇に加え、受注競争は一段と厳しさを増す等、建設業界を取巻く環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、従来からの収益改善策である利益率重視の選別受注による採算改善と工事原価の低減を一層強化することで、利益率の向上に努めてまいりました。

エコ部門におきましては、再生可能エネルギーの全量買取制度によって急激に市場が拡大した一方で、新規施工業者の参入により、販売価格の低価格化が進む等、受注競争が一段と激化してまいりました。

このような環境のもと、遊休地を活用した大型太陽光発電システムの需要開拓と10～50KW範囲の受注獲得に注力すると共に、全国規模での販売・施工管理体制を確立することで第2四半期には全国でメガソーラーを含む多数の大型物件が完工し、施工実績の積み上げを図ることにより当第3四半期において複数の大型物件の受注を獲得いたしました。また、工種毎の原価管理の徹底を図ると共に、架台製作やパネル設置の内製化を推し進めることで利益率の向上に努めてまいりました。

その結果、売上高は26億40百万円(前年同四半期比151.9%)、営業利益は2億43百万円(前年同四半期比183.1%)となりました。

アミューズメント事業におきましては、個人消費が一部の高額品を中心に持ち直しの動きが見られたものの、レジャーのサービス内容の多様化と需要の分散により、同業他社間での低価格競争が激化する等、厳しい市場環境が続いております。

このような環境のもと、カラオケ部門におきましては、仕入先の集約によるコスト削減を図り、飲食メニューの内容を充実させると共に、お子様向けのキャラクター衣装の貸出しサービスを開始する等、既存店舗の活性化に注力することで集客力と顧客満足度の向上を図り、収益の確保に努めてまいりました。

ゴルフ場部門におきましては、コースメンテナンスに注力すると共に、優待券の発行や冬季料金の設定を行い、集客力と顧客満足度の向上を図り、収益の確保に努めてまいりました。

その結果、売上高は5億69百万円(前年同四半期比100.6%)、営業利益は22百万円(前年同四半期比1,155.9%)となりました。

不動産事業の賃貸物件におきましては、賃貸用マンションの改修工事を行い、お客様の利便性の向上に努めると共に、不動産情報誌への継続的な広告を行うことにより、安定した稼働率を確保し、収益の向上に努めてまいりました。

なお、売買の引渡物件は2件でありました。

その結果、売上高は93百万円(前年同四半期比97.5%)、営業利益は45百万円(前年同四半期比121.8%)となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は81億39百万円(前年同四半期比111.8%)、営業利益は51百万円(前年同四半期比134.9%)、経常損失は14百万円(前年同四半期は経常利益20百万円)、四半期純損失は24百万円(前年同四半期は四半期純利益13百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して2億6百万円増加し109億49百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金等が93百万円、仕掛品が1億45百万円、原材料及び貯蔵品が1億11百万円それぞれ増加し、機械装置及び運搬具が2億7百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して2億16百万円増加し95億49百万円となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金等が1億63百万円、短期借入金が1億20百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億9百万円それぞれ増加し、長期借入金が2億93百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して10百万円減少し14億円となりました。その主な要因はその他有価証券評価差額金が24百万円増加し、利益剰余金が33百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

昨今の事業環境や最近の業績動向を踏まえ、平成25年6月12日の「平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました平成25年10月期(通期)の業績予想を本日修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	645,415	625,147
受取手形及び売掛金等	2,513,856	2,607,791
リース未収入金	573,903	523,780
商品及び製品	224,051	284,481
販売用不動産	370,119	329,762
仕掛品	208,187	353,619
原材料及び貯蔵品	404,274	515,565
その他	491,627	624,016
貸倒引当金	△8,870	△11,234
流動資産合計	5,422,565	5,852,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,303,472	1,243,579
機械装置及び運搬具(純額)	1,367,044	1,159,587
土地	2,068,088	2,078,663
その他(純額)	230,636	229,125
有形固定資産合計	4,969,242	4,710,955
無形固定資産	48,790	43,888
投資その他の資産		
投資有価証券	99,088	137,212
その他	206,927	209,419
貸倒引当金	△3,478	△5,002
投資その他の資産合計	302,537	341,629
固定資産合計	5,320,570	5,096,473
資産合計	10,743,136	10,949,404

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金等	593,182	756,697
短期借入金	1,800,000	1,920,000
1年内返済予定の長期借入金	1,034,332	1,243,392
未払法人税等	17,878	13,855
賞与引当金	4,900	25,080
完成工事補償引当金	3,607	5,652
資産除去債務	—	2,085
その他	915,971	850,236
流動負債合計	4,369,873	4,816,999
固定負債		
長期借入金	4,305,952	4,012,163
退職給付引当金	132,205	135,671
役員退職慰労引当金	93,667	100,410
船舶修繕引当金	6,384	35,115
資産除去債務	143,133	142,952
その他	281,445	305,808
固定負債合計	4,962,788	4,732,121
負債合計	9,332,662	9,549,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,980	684,980
資本剰余金	512,980	512,980
利益剰余金	219,567	186,469
自己株式	△674	△765
株主資本合計	1,416,852	1,383,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,323	18,003
繰延ヘッジ損益	△54	△1,383
その他の包括利益累計額合計	△6,378	16,619
純資産合計	1,410,474	1,400,284
負債純資産合計	10,743,136	10,949,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)
売上高	7,281,480	8,139,523
売上原価	6,207,274	7,090,989
売上総利益	1,074,205	1,048,534
販売費及び一般管理費	1,035,834	996,761
営業利益	38,371	51,772
営業外収益		
受取利息	54	42
受取配当金	1,992	2,282
仕入割引	1,291	1,116
補助金収入	65,273	—
受取販売奨励金	1,167	6,439
その他	15,092	17,604
営業外収益合計	84,871	27,485
営業外費用		
支払利息	85,072	71,682
その他	17,432	22,205
営業外費用合計	102,504	93,888
経常利益又は経常損失(△)	20,737	△14,630
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,737	△14,630
法人税、住民税及び事業税	11,875	12,321
法人税等調整額	△4,742	△2,511
法人税等合計	7,132	9,810
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	13,605	△24,440
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,605	△24,440

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	13,605	△24,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,076	24,327
繰延ヘッジ損益	△4,800	△1,329
その他の包括利益合計	△8,877	22,998
四半期包括利益	4,728	△1,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,728	△1,442
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報等】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年11月1日 至 平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	4,881,398	1,737,980	565,865	96,235	7,281,480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	162	—	162
計	4,881,398	1,737,980	566,028	96,235	7,281,642
セグメント利益	8,024	133,041	1,930	37,239	180,235

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	180,235
セグメント間取引消去	10,464
全社費用(注)	△152,328
四半期連結損益計算書の営業利益	38,371

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	4,836,051	2,640,299	569,375	93,797	8,139,523
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2	—	2
計	4,836,051	2,640,299	569,377	93,797	8,139,526
セグメント利益又は損失(△)	△123,758	243,654	22,311	45,352	187,559

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	187,559
セグメント間取引消去	11,383
全社費用(注)	△147,170
四半期連結損益計算書の営業利益	51,772

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。